

問 新たな図書館建設までの予定は

答 先に館長を全国公募、33年度着工予定



篠崎久美子 議員

【新図書館建設】

問 村長の考える新図書館とは。

答 複合施設が基本で図書館施設検討委員会の検討結果を参考にする。

問 建設時期と進め方、建設関係費は。

答 7月に委員15名の図書館施設検討委員会を設置、30年度は専門家有識者会議を予定。29、30年度に住民意見集約、31年度以降に基本設計、33年度に建設着工予定。館長は30年度に全国公募予定。費用は必要な施設規模を見込んで算出する。

問 村民意見の集約方法は。

答 白馬中・高、シニアクラブ役員から行った。1月に村民対象のワークショップを開く。講演会等も予定。

問 人口減少社会では財政面からも公共施設建設の全体像を描くことが大切では。

答 公共建造物の計画性は重要。将来を見据えた財政計画に基づき適正管理に努める。

問 障害者グループホームの施設整備は

答 計画が表面化すればできる限り支援

【障害者福祉】

問 障害者差別解消法は施行後1年以上が過ぎた。当事者からの申し出と対応は。

答 相談件数は7件。ケースごとに課内で協議、必要に応じて社協と共有して対応。来年度は住民向け講座も開催し、法の趣旨の啓発を進める。

問 障害者の移動や情報補償の課題は。

答 移動支援従事者の知識・技能面の向上が望まれ、研修を促す。情報の課題は要約筆記者の人材不足。来年度は大北地域で入門講座、再来年度は県の養成講座が予定されている。

問 32年度までに全市町村に設置方向の児童発達支援センターの整備は。

答 大北圏域での設置を目指し、各市町村と協議を進める。

問 かねてより住民要望のある障害者グループホームの整備は。

答 極めて重要と認識。地域共生社会実現に向け建設計画が表面化すれば関係機関と連携し、できる限り支援する。

問 情報提供で重要なホームページの運用ガイドライの作成を。



図書館2階の狭い閉架書庫には、整理された本がぎっしりと並ぶ

答 来年度に見直し、改修作業に取り組む。

問 視力屈折異常検査の機器購入が検討されているが、利用は。

答 次年度に大北5市町村で共同購入。村乳児健診等で異常早期発見・治療に役立てたい。

問 小規模水道施設維持管理に補助金を

答 全国の例を参考に調査・研究する

【小規模水道施設等の維持管理】

問 これら施設が老朽化等の場合、村給水区域の計画変更は。

答 地域の独自水道施設は現在7カ所。村給水区域変更の場合は適正に手続きする。

問 小規模水道施設の長寿命化や適切な維持管理のため補助金創設を。

答 全国27市町村で行っている。必要性も含め全国の補助制度を参考に調査・研究する。